

岩津松平氏進出600年

歴史と未来を

つなぐ力

岡崎市立岩津中学校長 丹下 義輝

歴史的景観

岩津町は、愛知県岡崎市の北部、豊田市に近接する地域に位置しています。学業成就の神として親しまれる岩津天満宮をはじめ、名刹や古墳など数多くの史跡に恵まれた、歴史と文化が息づく町です。中でも、地域の象徴的存在として知られるのが、岩津城址です。

岩津城

岩津城は、岡崎市岩津町字東山に所在した中世の山城です。城域は東西約150メートル、南北約200メートル



往年の姿が息づく岩津城址

岩津城址と学校とのかわり

岩津城址と岩津中学校とのかわりは、今から11年前にさかのぼります。きっかけは、岩津城址の清掃活動でした。当時の岩津学区総代であった時々輪忠正さんから、岩津中学校に協力の



岩津中学校生徒による岩津城址の清掃活動

依頼が寄せられました。生徒たちは城址に生い茂った竹の伐採や運搬を手伝い、その様子は当時「中日新聞」にも取り上げられました。記事には、「高い山の城跡に生えていた約百本の竹を切り、生徒たちが運搬を手伝った。」と記されています。

ルに及び、主郭と南郭、それらを結ぶ土橋、主郭を巡る空堀など、良好な遺構が現在も残されています。この城は、松平氏によって築かれ、徳川家康公の祖先である岩津松平家の拠点として機能しました。家康公の祖父にあたる安祥松平家七代当主・松平清康が岡崎城へ拠点を移した後も、岩津城は岡崎城の北の守りとして重要な役割を担い、家康公の手によって改修・強化が施されました。貴重な山城遺構として、松平氏の岩津進出から600年を経た現在も、その往時の姿をしのぶことができます。

それ以来、参加する生徒は年度ごとに変わりながらも、毎年百名を超える生徒が、地域の方々とともに岩津城址の環境整備に取り組んでいます。昨年度の活動後には、生徒が「自分の地域に歴史に残るものがあるなんてすごい。楽しく活動できたので、またやりたい。」と語ってくれました。生徒たちの中に、地域の一員として郷土を大切に思う心が脈々とつながって、郷土愛

が芽生えていることを強く感じました。  
岩津城と松平信光

岩津城は、松平家二代・泰親、三代・信光の父子によって築城されました。中でも松平信光は、後の徳川家康公へと連なる松平家を飛躍的に発展させた人物として知られています。信光は西三河の約3分の1を支配下に置いたと伝えられ、室町幕府との関係を築きつつ、三河各地に散在していた松平一族を統率しました。85歳まで生き、48人の子をもうけたとも言われています。

1404（応永11）年に生まれた信光は、幼少期に父を失い、二代・泰親の養子として育てられました。足に障がいがあった兄が本家を継ぎ、次男であった信光は額田郡の岩津の地に移り、岩津松平家を興します。これが岩津城進出の起点となりました。

信光は63歳の時、牢人一揆を鎮圧する過程で松平一族を束ねることに成功し、三河国における勢力を急速に拡大していきました。六代・信忠の時代には、「十四松平」「十八松平」と称されるほど多くの庶家が派生し、松平一族は大きな繁栄を遂げます。信光は1488（長享2）年、岩津城にて85年の生涯を閉じ、岩津の妙心寺に葬られました。

信光の寺院建立

信光は寺院の建立にも力を注ぎ、36歳で滝村に萬松寺を、48歳で信光明寺を、58歳で妙心寺を建立しています。およそ10年ごとに寺院を建立できたことから、当時の経済力と人脈の豊かさうかがえます。信光明寺は、1451（宝徳3）年に祖父・親氏、父・泰親の菩提を弔うため創建されました。後に兵火で焼失しましたが、1478（文明10）年建立の観音堂は現在、国の重要文化財に指定されています。また、圓福寺総門前の参道脇に建つ真浄院は、信光の妻（一色氏の娘）の菩提寺であり、歴史的にも重要な場所です。



(上) 信光明寺 (左) 真浄院

若一神社創建600年

岩津学区にある若一神社は、松平泰親によって創建されたと伝えられる古社で、令和8年、創建600年を迎えました。一族の繁栄と所願成就を願い、熊野三山から神々を勧請したとされています。岩津松平氏進出600年は、若一神社創建年を根拠としていると伝えられています。

若一神社は1852（嘉永5）年に現在地に移り、1971（昭和46）年に本殿と拝殿を移築しました。

岩津松平氏600年記念事業「信光フェスタ」

松平氏の岩津進出から600年の節目を迎え、記念事業として11月3日に「信光フェスタ」の開催が予定されて



若一神社



信光フェスタのキャラクター人形 (左) 真浄院 (右) 信光

代表の阿部太郎さんは、「岩津は、松平家が山間地から平野部へと進出する際の重要な拠点でした。この価値ある歴史資源を活かし、地域の誇りとなる町を目指したい。」と熱く語っています。また、この事業には、岩津地区にある岩津小学校、岩津中学校、そして岩津高等学校がさまざまな形で参画する予定となっており、岩津中学校は「岩津の舞」を披露する予定です。この岩津中学校に伝わる「岩津の

これからの岩津地区

現在の岩津地区は、自動車関連産業をはじめとする製造業の集積地として発展を続けています。阿知和地区工業団地の整備と、阿知和スマートインターチェンジの開設により、地域経済のさらなる活性化が期待されています。工業団地造成は、令和9年3月末の完了を予定しています。

岩津は、600年の歴史を礎として、これからも未来へ向かって輝き続けることでしょう。



岩津の舞